

Theme

海を見下ろすガレージハウス 脱都会暮らしの実際例

冷静になって考えてみると、窮屈な都会の暮らしにしがみついている必要はないかもしれません。今回提案するのは海が見えるガレージハウス。この家で人生の第二章を送ってみませんか？



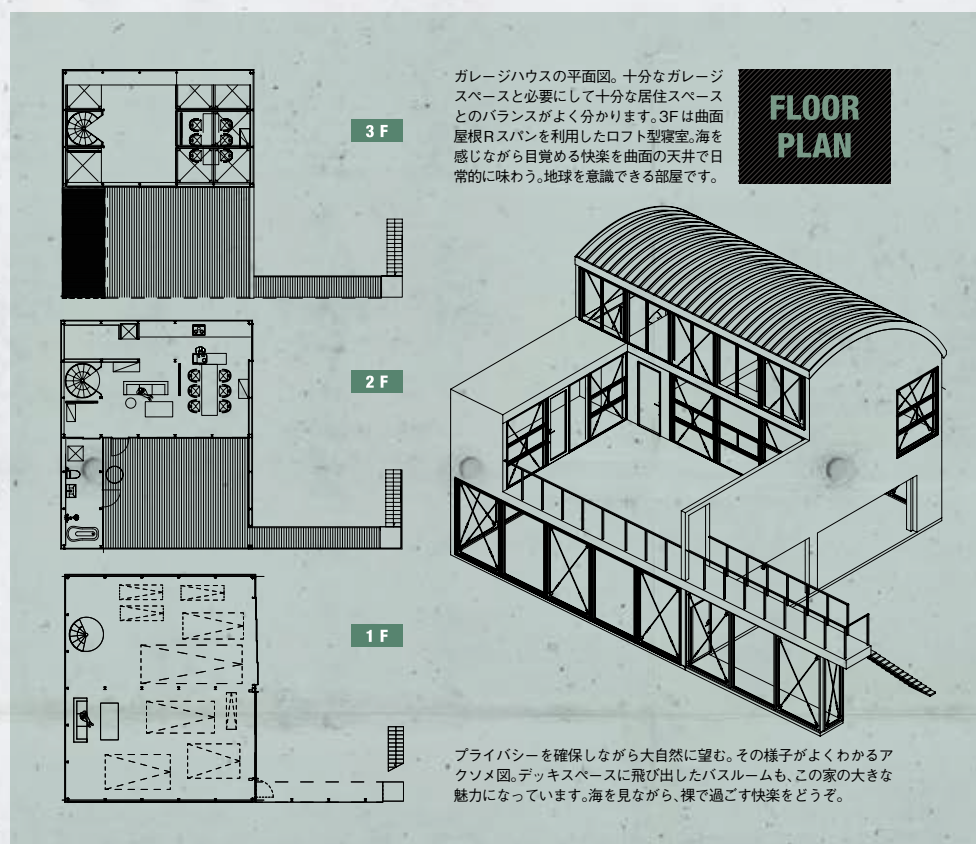
PANELS
66



ガレージから螺旋階段を上って2Fのリビングに來た瞬間、光と影のコントラストを感じることができる。このガレージハウスの豊かさを表現したカット。落ち着いた家具類と鉄骨の素材感の絶妙な雰囲気、外部の海の風景がさらに魅力的に演出してくれます。季節によって、時間帯によって無限の組み合わせで部屋の表情が変化します。この良質な刺激を毎日の生活のリズムに組み入れることができるのですから、思わず都会の暮らしがすけて見えますね。親しい友人を呼んで気の置けないパーティをする場所としても最良です。



デッキスペースからリビングへ、吹き抜けと天井のコントラストは、落ち着きと開放感を両立。奥のキッチンスペースはデイトナハウス特製のガルバリウム壁。ハードボイルドな男のキッチンには、キャンプ用のツーパーナーが最適。



ガレージハウスの平面図。十分なガレージスペースと必要にして十分な居住スペースとのバランスがよく分かります。3Fは曲面屋根Rスパンを利用したロフト型寝室、海を感じながら目覚める快楽を曲面の天井で日常的に味わう。地球を意識できる部屋です。

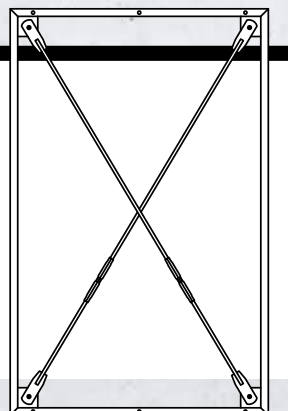
FLOOR PLAN

プライバシーを確保しながら大自然に望む。その様子がよくわかるアクセント。デッキスペースに飛び出したバスルームも、この家の大きな魅力になっています。海を見ながら、裸で過ごす快楽をどうぞ。



What's Daytona House?

デイトナハウスを構成するのは、LGSと呼ばれる軽量鉄骨のパネルで、厚さ3.2mm、幅12.5cm、厚み5cmの「Cチャンネル」と呼ばれる部材を、横幅180cm、縦270cmの長方形に溶接して製作しています。対角線のクロスしたパーツは、「ブレース」と呼ばれる筋違いで、力の伝達を受け持つ大切な役割を持っています。「柱」と「梁」と呼ばれる縦と横の部材を使って軸組を作っていく一般的な建築とは違って、デイトナハウスはこのLGSパネルを連結することで住宅、ガレージ、別荘、店舗、マンションなどの様々な建築を可能とする、全く新しいカタチのシステムなのです。つまりこのLGSパネルを使った建物全てがデイトナハウスと言う訳です。パネルの枚数を数えるだけで、建築の広さ、およその予算がイメージできる分かります。パウダーコーティングが施されたその鉄の素材感が醸し出すハードボイルドな空間のテイストも持ち味です。



慌ただしい都会の生活を卒業して海の見える場所で好きなクルマやバイクに囲まれながら現役生活の後半戦を生きていきたい。最近そのような要望が多く寄せられます。ゆっくりと流れる時間。朝の空気の美味しさ。夜の静けさと波の音。しかもそれは別荘ではなく、あくまでも日常の住まいで、現役生活の場所として考えるワークスタイルの変化やインターネットの発達でこのような生活が妄想ではなく、現実のものとして考えられるようになりました。今回は、デイトナハウスが実際に設計している実例を題材に、充実人生とガレージハウスについて考えてみました。

この家は、プライバシーの確保と外部への開放性のバランスを最も大切な要素としています。普段の生活の場所ですから、あまり開放的すぎても困る。一方、自然をいつも感じて暮らしていきたい。この連立方程式がこの家のフォルムを決定しています。1Fは余分な要素を排除して、すっきりとしたガレージ空間を構築したかったため、玄関は2Fに設定。海を見ながら、玄関をわたり家に入ります。外壁はコンクリートパネルと断熱材が一体になったLGSパネル。過度に目立たない落ち着いた外観は、ほぼRC建築の印象です。2Fから玄関をくぐると開けたデッキスペースが広がります。これは海を見下ろす空中庭園の位置付けで、この家でのプライベートライフは、すべてこのデッキスペースを取り囲むように営まれます。ガレージ空間や外部のコンクリート壁の重厚な印象とは打って変わり、この内部にあるウッド感こそが、ツヤ消しの鉄骨にコントラストを与え、長い年月にわたるこの家と美しい海への愛着を保障してくれるのです。こんな家をベースにそろそろ脱都会暮らしを考えてみませんか？

INFORMATION LDKinc.

デイトナをはじめ、カーマガジンでの長期連載、ムック本であるCAR&HOMEにて、常にクルマと住宅の関係について提案し続けてきた建築プロデュース会社LDK inc. 建築設計はもちろんのこと、建築システムの開発や商品開発も行う。

代表: 玉田敦士
WEB: www.ldk.co.jp
TEL: 03-6228-4933

DAYTONA HOUSE OFFICIAL HP
www.daytona-house.com

Text/Atsushi TAMADA CG/Kenta KITAGAWA (ldk) Soma YOKOI